



高断熱

&

太陽光
パネル

エコな住まいは、

これからの
時代の
家づくり

コストメリットも期待大?!

3つの POINT

建築時に補助金を活用できる!



東京都では、太陽光パネルや蓄電池等に関する様々な支援制度があります。さらに、環境性能に関する一定の基準をクリアすれば、「東京ゼロエミ住宅」や国などの補助金も活用することができます。

住宅ローン減税の対象となる!



「低炭素住宅」「ZEH 基準」など環境性能に関する一定の基準に対応する住まいは、住宅ローン控除の対象となります。さらに、子どもがいる世帯は、控除額の対象となる借入限度額が拡充されます。※控除には条件等があります。

光熱費（ランニングコスト）を削減できる!



高い気密・断熱性能の住まいは、僅かなエアコンの稼働で、年中快適に過ごすことができます。さらに、太陽光パネルがあれば、日々の光熱費も抑えることができ、生涯収支の観点でランニングコストの削減にもつながります。



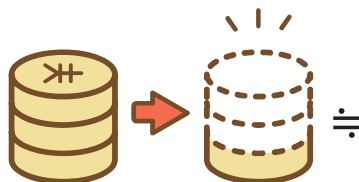
東京都では、2025 年 4 月から、太陽光パネルの設置や断熱・省エネ性能の確保等を大手ハウスメーカー等に求める新しい制度が始まり、エコな住まいが増えていきます!



地球にもお財布にも優しい



太陽光発電で電気料金を削減



毎月の電気代
1.2 万円程度

毎月約 7,700 円
削減!

年間で、
約 92,400 円
削減!

年間電気代の
削減イメージ

※【年間電気代削減額の試算条件】東京都区部の月平均の電気使用量＝約 345kWh（「総務省家計調査 2023」より）345kWh の電気料金＝約 1.2 万円（「東京電力従量料金単価」から算出。燃料費調整単価は令和 6（2024）年 8 月分を採用）売電価格＝16 円/kWh（「資源エネルギー庁 HP」より）設置容量 4kW の太陽光パネルの月平均発電量 333kWh（「太陽光発電協会 HP」より）売電：自家消費＝6（200kWh）：4（133kWh）で試算→売電 3,200 円（@16 円/kWh）、自家消費 4,500 円（@34 円/kWh）より、月合計削減額が 7,700 円となり、年間で 92,400 円の削減となる

東京ゼロエミ住宅



省エネルギー対策を推進する 東京都独自の補助金制度

東京都では、都内のエネルギー消費量の約 3 割を占める家庭部門の省エネルギー対策を推進し、令和元年度から「東京ゼロエミ住宅」を新築した建築主に対し、その費用の一部を助成する事業を実施しています。

《たくさんのメリットがあります》



最大で
240 万円の助成



太陽光・蓄電池に
対する補助もあり



不動産取得税の
減免も可能

問い合わせ先は、クール・ネット東京 (03-5990-5169)

